

【お知らせ】「犬吠埼灯台における気象情報の提供（波高）について」

第三管区海上保安本部



○レーダー波高計とは

現在、波高を観測している箇所においては、従来、灯台にて職員が滞在し、目視により「波・うねり」を観測してきましたが、気象観測を自動化するため、順次機械化を進め、平成15年度から導入されているレーダー波高計により運用を行っているものです。

○レーダー波高計の運用状況

全国15箇所の灯台でレーダー波高計を運用していましたが、利用実態等を踏まえ、利用関係者のご理解を得て5箇所を廃止しております。

○波高計は修理不可

設置しているレーダー波高計は古く、既に製造中止となっているため、修理できません。

他の箇所でも、現在使用しているもの以外に予備品を保有していないため、転用することはできません。

代替手段について

海上保安庁では海の安全情報において、犬吠埼灯台の、風向・風速・気圧の気象情報に加え、ライブカメラの海象状況を画像提供しております。

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/03kanku/choshi/inubosaki_lt/livecamera/index.html

そのほか波高情報等提供サイト

国土交通省港湾局「ナウファス」 （エリア鹿島港有義波実況）

<https://nowphas.mlit.go.jp/>

気象庁（波浪実況・予想図）

https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/shindan/index_wave.html

一般財団法人日本気象協会（銚子の海の天気）

<https://tenki.jp/wave/3/15/26/>



波高情報の提供は廃止しますが、引き続き、風向・風速・気圧情報の提供は継続します